

OPEN

『京大の知』を発掘し、解放する

企業のオープンイノベーションに呼応して、
京都大学の持つあらゆる「知」を、掘り起こし、見える化。
皆がお互い胸襟を開いて「知」を結合し、
最適解を導くことで、豊かな未来を開きます。

京都大学 ネイチャーポジティブスクール ～“企業のための生物多様性”を学べる短期集中講座～

2025.09.29

本スクールのシラバス

第1回 自然資本とTNFDについて

Confidential

2025年10月20日(月) 14:00-17:10 (会場：京都リサーチパーク 東地区1号館G会議室・Zoom)

14:00-14:05 挨拶

14:05-14:15 講座説明

14:15-15:30 講義1 自然関連財務情報開示タスクフォース (TNFD) の最近の動向

秀島 弘高氏 (第一生命ホールディングス株式会社 フェロー／前TNFDタスクフォースメンバー)

飛弾 則雄氏 (農林中央金庫 エグゼクティブ・アドバイザー／TNFDタスクフォースメンバー)

- ・TNFDの背景 (どうして企業活動において自然に関する取り組みが重視されるのか)
- ・TNFDの検討経緯
- ・4つの柱 (ガバナンス、戦略、リスクとインパクトの管理、指標と目標)、14の開示項目
- ・TCFDとの共通点・相違点
- ・TNFD提言の本質 (自主的な開示。義務化は近い。実践的。グリーンウォッシュとならないために。)
- ・国際的潮流 (欧州サステナビリティ報告基準、ISSBによる検討、義務化の展望)
- ・日本企業がどう対応すべきか

15:40-16:20 講義2 投資家サイドから見たTNFDへの対応

矢野 節子氏 (アセットマネジメントOne株式会社 運用本部 リサーチ・エンゲージメント部 ESGアナリスト)

- ・投資家サイドがTNFDを重視する理由 (企業価値向上 (収益向上、リスク低減) の観点から)
- ・資産運用機関としての取り組み、そこから判明したこと
- ・投資家サイドが重要視する項目
- ・投資家サイドから見た優れた開示事例
- ・投資家サイドの期待を受けて企業はどう対応すべきか

16:20-17:05 質疑応答・ディスカッション

17:05-17:10 事務連絡 (17:15-17:45 名刺交換会)



第2回 TNFD ～最終提言/LEAPアプローチ（概要編）について

Confidential

2025年11月11日(火) 14:00-17:10（会場：京都市サーチパーク 西地区4号館ルーム2A/2B・Zoom）

14:00-14:05 前回振り返り

14:05-15:30 講義1 TNFDの基本から実践まで（①最終提言概要）

- 大谷 智一氏（株式会社みずほフィナンシャルグループ サステナビリティチーフストラテジスト）
- ・TNFDの最終提言のアウトラインについて（4つの柱、14の開示項目に関する詳細）
 - ・セクター別ガイダンスについて（数例概説）

15:40-17:05 講義2 TNFDの基本から実践まで（②LEAPアプローチ概要）

- 大谷 智一氏（株式会社みずほフィナンシャルグループ サステナビリティチーフストラテジスト）
- ・LEAPアプローチの概要・有効性
 - ・ベンチマーク調査
（先行事例のLEAPアプローチの実施状況に概説）
 - ・準備段階のScoping（スコーピング）
 - ・投資家サイドの期待を受けて企業はどう対応すべきか

17:05-17:10 事務連絡



大谷 智一
株式会社みずほフィナンシャル
グループ サステナビリティ・チー
フストラテジスト

2025年11月26日(水) 14:00-17:10（会場：京都市サーチパーク 西地区4号館ルーム2A/2B・Zoom）

14:00-14:05 前回振り返り

14:05-15:30 講義1 自然との接点の分析 (Locate)

大谷 智一氏（株式会社みずほフィナンシャルグループ サステナビリティチーフストラテジスト）

- ・代表的なツールの紹介（IBAT、ENCORE、Global Forest Watch、WRI Aqueduct等）
- ・業界別での利用状況
- ・ENCORE利用方法についての解説
- ・参加者の皆様におけるENCOREの分析体験
- ・ENCOREでの分析結果についてのご発表

15:40-17:05 講義2 自然資本の経営への組み込み

大谷 智一氏（株式会社みずほフィナンシャルグループ サステナビリティチーフストラテジスト）

- ・Evaluate（診断する） Assess（評価する） Prepare（準備する）の観点
- ・自然資本に基づくサステナファイナンス
- ・TNFDと連動する国内施策の活用（自然共生サイト）
- ・自社の自然資本のあり方についての試行・ご発表

17:05-17:10 事務連絡



第4回 環境負荷評価ツール“LIME 3”の活用

Confidential

2025年12月1日(月) 14:00-17:10 (会場：京都リサーチパーク 東地区1号館G会議室・Zoom)

14:00-14:05 前回振り返り

14:05-14:40 講義1 自然の経済価値評価手法について

栗山 浩一氏 (京都大学大学院農学研究科 教授)

- ・環境価値評価とは (自然環境の価値を金銭単位で評価する手法)
- ・環境価値評価法 (代替法、トラベルコスト法、ヘドニック法、CVM (仮想評価法)、選択型実験、など)
- ・環境価値評価の事例 (バイオマス製品、サプライチェーン)

14:40-15:30 講義2 LIME3について

伊坪 徳宏氏 (早稲田大学理工学術院 教授)

- ・ライフサイクル影響評価 (LCIA) とは
- ・LIME3概要と特徴
- ・LIME3の枠組み
- ・他影響評価手法との比較
- ・ポストLIME3 ネイチャーフットプリントの影響評価手法

15:40-17:05 実習 LIME3実習

伊坪 徳宏氏 (早稲田大学理工学術院 教授)

- ・インベントリデータと影響評価用係数を用いた計算
- ・被害評価と統合化の計算
- ・結果の解釈

17:05-17:10 事務連絡



栗山 浩一
京都大学 農学研究科
生物資源経済学専攻 教授



伊坪 徳宏
早稲田大学理工学術院 教授

第5回 先進企業に学ぶ（大企業/京大発スタートアップ）

Confidential

2025年12月4日(木) 14:00-17:10（会場：京都リサーチパーク 東地区1号館G会議室・Zoom）

14:00-14:05 前回振り返り

14:05-14:40 講義1 サステナブルな食の未来に向けた共創:不二製油グループの自然への取り組み

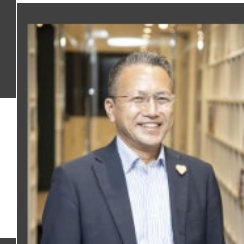
泉 晶子氏（不二製油グループ本社株式会社 ESG部門 サステナビリティ推進グループリーダーシニアマネージャー）
・パーム油のサステナブル調達 ・カカオのサステナブル調達 ・TNFD開示内容



泉 晶子
不二製油グループ本社株式会社
ESG部門 サステナビリティ推進
グループリーダー
シニアマネージャー

14:40-15:15 講義2 TNFDに関する取り組み ～地域の環境課題解決に向けての取り組み～

渡邊 博史氏（イオンモール株式会社 戦略統括部 地域サステナビリティ推進部 部長 他）
・環境に関する3つの取り組み ・生物多様性の保全「イオンの植樹活動」「まちのいきもの+（プラス）」「お客さまとともに」
・TNFDに関する取り組み（LEAPアプローチと開示内容）



渡邊 博史
イオンモール株式会社 戦略統括部
地域サステナビリティ推進部 部長

15:15-15:45 講義3 アース製薬の事業活動を活かした自然資本に関する取り組みの紹介

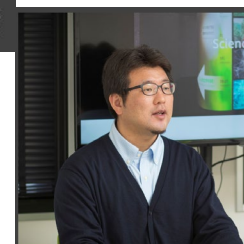
浜口 唯衣氏（アース製薬株式会社 経営統括本部 CSRサステナビリティ推進部 係長）
・アース製薬の取り組みの背景とその内容（自然環境保全活動、昆虫種の保存）
・アース坂越の森での生物多様性保全活動 ・外来生物（昆虫類）対策



浜口唯衣
アース製薬株式会社 経営統括本部
CSRサステナビリティ推進部 係長

15:55-16:10 講義4 ネイチャーポジティブの科学的評価と促進 ～広域データと事業地オンサイトデータの融合～

石川 奏太氏（サンリット・シードリングス株式会社 代表取締役）
・サンリット・シードリングスの取り組みについて ・生態学に基づく生物多様性評価、TNFD情報開示への貢献
・生物多様性評価ツール「Bioshpere Viewer」 個々の企業の実態を正確に解析



石川 奏太
サンリット・シードリングス株式会社
代表取締役

16:10-16:25 講義5 ネイチャーポジティブビジネスの創出 ～生物多様性ビッグデータの構築と活用～

藤木 庄五郎氏（株式会社バイオーム 代表取締役CEO）
・バイオームの取り組みについて ・生物多様性可視化サービス「BiomeViewer」
・利用実績、利用者の声（イオンモール様、KDDI様など）



藤木 庄五郎
株式会社バイオーム 代表取締役
CEO

16:25-17:05 パネルディスカッション

17:05-17:10 事務連絡 （17:20-18:20（予定） 懇親会）

本資料に関し、ご質問等ございましたらお気軽にご連絡ください。

京大オリジナル株式会社(京都大学100%出資子会社)
共創アシストチーム 岡田

代表番号：075-753-7766

E-mail：okada.ichiro@kyodai-original.co.jp



京大オリジナルの最新イベントは
サイトでご確認ください！

★京都大学の先生方との連携、研究リソースの確保など、なにかお手伝いできることがあれば、お気軽にご相談を！

★京大関連イベントの情報収集に、きっとお役に立ちます！ぜひ弊社メルマガにご登録を。

<https://submitmail.jp/FrontReaders/add/5070>